

きょうこう通信

おきなわ No.009

企画・編集：公益財団法人

日本教育公務員弘済会 沖縄支部

発行：(株)沖縄教弘 平成26年8月25日

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12

TEL：098-867-1765 FAX：098-869-3544

<http://www.nikkyoko-okinawa.jp>



※活動の様子は、どろんこ運動会、防鳥ネットの設置、稲刈り、授業の様子です。

宮古島市立宮島小学校の取り組み

宮古島市立の宮島小学校は、同島で有数の稲作地域であった島尻地区にあります。現在は稲作は行っていないが、同小学校では、保護者や地域の方々の協力で稲作体験学習に取り組んでいます。今年は、小規模校の良さを生かし、学力の優劣にかかわらず、全員が楽しく「わかる・できる」ユニバーサルデザイン授業に全校で取り組んでいます。

校長：屋嘉比俊哉 児童数：8名

ご挨拶

公益財団法人日本教育公務員弘済会沖縄支部

支部長 上地 弘志



2014年7月1日公益財団法人日本教育公務員弘済会沖縄支部長に就任しました。よろしくお願い申し上げます。当会は、「将来社会に貢献し得る有為の人材を育成し教育関係職員の福利厚生を図ることによって本県教育の向上発展に寄与する」ことを目的に1973年(昭和48年)7月1日に(公財)日教弘の前身である(財)日教弘の県支部として発足し満41年を迎えました。(財)日教弘は1952年(昭和27年)7月に設立され公益法人として奨学事業・研究助成事業、福祉事業、共済事業等の充実に全力を傾注し、2012年(平成24年)4月、内閣府より公益財団法人の認定を受け、公益財団法人日本教育公務員弘済会として新たなスタートを切りました。認可から今年で3年目を迎え、沖縄支部としても教職員が安心して働き、暮らしていくための相互扶助の事業と「民による公益の増進」のため、奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業等、教育振興事業の充実に図り教育界に寄与し、社会貢献を図る役割を果たしてきています。

今後とも、本会の基本理念をしっかりと踏まえながら関係諸団体と連携を図り、さらなる事業(①教育振興事業・奨学事業、②福祉事業、③共済事業(提携保険事業))の発展を目指して頑張っていく所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日教弘沖縄支部の事業内容についてはホームページをご覧ください。<http://www.nikkyoko-okinawa.jp>

日教弘沖縄支部の事業

公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として下記の事業を行っています。



1. 教育振興事業

① 奨学事業
無利息で奨学金を貸与・給付

有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。



平成25年度実績

累計

貸与奨学金	国立私立大学院、大学、短大等の学生に最高100万円を無利息で貸与。	63名 49,500,000円	4,284名 2,139,850,000円
給付奨学金	学資金の支払いが困難な高等学校等の生徒を対象に給付。	262名 13,100,000円	2,134名 106,700,000円
義援給付奨学金	東日本大震災により避難生活をしながら県内の学校に通う児童生徒に給付。	223名 11,150,000円	510名 22,500,000円

義援給付奨学生から送られてきました感謝のお手紙



琉球新報社 提供



② 教育研究助成事業

教育研究や実践活動の支援



教職員、学校及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究（活動）に助成しています。

◎学校研究助成 112校 8,878,967円 平成25年度実績

No.	学 校 名	学 校 長	研 究 テ ー マ
1	那覇高等学校	儀 間 清 隆	教育活動の成果を発表できる場を作ろう！ ～校内外で展示・発表を推進～
2	南部農林高等学校	知 名 幸 一	学校のエントロピー ～落ち着いた学習環境作りを目指して～
3	浦添高等学校	高 安 直	浦添高校サイエンス部の活性化 ～体験活動を通した科学的な能力の育成～
4	那覇工業高等学校	真栄田 義功	『那覇工業オリジナルカレンダー』で、保護者や中学校に本校のすごさをアピールし、存在感を示そう！
5	那覇国際高等学校	下 地 敏 洋	「国際バカロレア教育」の可能性について
6	沖縄盲学校	大 田 幸 司	幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、適切な教育支援のあり方 ～視覚障害教育における専門性の維持・継承を目指した授業実践を通して～
7	神森小学校	長 尾 栄 正	省エネルギーについて
8	前田小学校	長 濱 京 子	活用する力を育てる算数科学習指導の工夫 ～「書く活動」を通して～
9	清水小学校	吉 野 剛	楽しく運動に親しみ、互いに学び合う体育学習 ～学び合いの工夫を通して～
10	高嶺小学校	屋 比 久 守	心豊かな高嶺っ子に確かな学力を！！ ～基礎的・基本的事項の確実な定着を目指して～
11	兼城小学校	金 城 勲	教師の指導力の向上を図るためOJTに係る研究・研修
12	座安小学校	横 山 芳 春	一人一人の子どもの可能性を開きやすき授業の創造 ～言語活動を充実させるための指導の工夫～
13	上田小学校	石 川 宏	児童一人一人に思考力・判断力・表現力を育てる授業の創造 ～算数科において筋道を立てて考え・表現する活動を通して～
14	高嶺中学校	上 原 尚 善	基礎学力の定着を図る取組 ～本校卒業生の大学生による学習支援を通して～
15	東風平中学校	大 城 朗	「伝統文化体験活動」における伝統文化の継承と地域の発展に貢献したいという心をはくむ活動の充実
16	津嘉山小学校	玉那覇 邦和	自ら学び、ねばり強くやりぬく子の育成 ～確かな学力の定着を図ることを通して～
17	佐敷小学校	糸 数 洋	基礎的・基本的な知識技能の定着を目指す算数科指導の工夫 ～「教えて考えさせる授業」を通して～
18	百名小学校	棚 原 久	特別支援を要する児童も、普通学級で安心して学べる学習指導
19	船越小学校	宮 城 伸 子	思考力・判断力・表現力を育む言語活動の工夫 ～目的を明確にした「書く力」を育てる指導を通して～
20	久高小中学校	兼 島 景 秀	ふるさとを生きし新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進
21	北丘小学校	玉 城 義 一	夢や希望をもって、他とかかわり合いながら、自分らしさをのびそうとする児童の育成
22	与那原中学校	淵 田 立 身	確かな学力の向上を図る指導方法の工夫 ～「夢・にぬふあ星プランⅢ」の取組を通して～
23	大里中学校	諸 見 里 勲	ものづくり・科学技術研究活動 ～太陽光発電や湿度、照度等のワイヤレス計測システム～
24	南星中学校	高 原 克 之	本校の校訓のひとつ「共生」や教育方針の「三共の精神」を実践活動に活かす
25	知念高等学校	神 谷 孝	高等学校における日常の清掃活動を通しての環境教育研究
26	南風原高等学校	山 田 保	県内唯一の郷土文化コースが設置されている南風原高等学校における生徒の自主・自律を目指した舞台公演の取り組み
27	鏡原小学校	永 松 才 易	「思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫改善」 ～発問を工夫し考えを深める指導を通して～
28	宮島小学校	屋嘉比 俊哉	豊かな言語能力をはくむ言語活動の充実 ～各教科・領域・学校教育活動全体を通して～
29	北小学校	平 良 隆	意欲的に学び活用力を高める授業づくりの実践 ～協同的な学び合い（協同学習）を通して～
30	西城小学校	小 谷 優	学校の特色を生かした環境美化活動 ～朝の活動や草花の栽培活動を通して～
31	砂川小学校	久 貝 勝 宣	思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫 ～言語活動を意識した授業への取り組みを通して～
32	宮古島市伊良部小学校	砂 川 靖 夫	「活用力を高める授業づくり」の推進と「家庭の教育力を高めるための取り組み」の強化
33	下地小学校	与 那 霸 止	「確かな学力」をはくむ授業づくり ～問題解決的な学習を通した指導法の改善・充実～
34	多良間小学校	宮 城 隆	「自分の思いや考えを伝え合う力を高める指導の工夫」 ～「読むこと」の指導の工夫を通して～
35	上野中学校	島 袋 正 彦	「花いっぱい・みどり溢れる」学校運営の充実 ～環境デー・教育ファームまつりの実践を通して～
36	多良間中学校	池 田 満	補習指導の充実による、基礎学力の向上 ～個々の学習意欲を育む補習指導の実践を通し、基礎学力の向上を図る。
37	宮古工業高等学校	宮 里 幸 利	工業のスペシャリストをめざして！ 国家資格・技能士の技術と知識でジュニアマイスターの称号を！
38	あらかわ幼稚園	漢 那 憲 吉	人とかかわりを通して道徳性の芽生えを培う ～遊びの中で協同性を育む活動を通して～
39	白保小学校	石 垣 静 枝	児童一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む
40	明小小学校	比 嘉 政 宏	思考力・判断力・表現力を育てる指導とその評価方法 ～極少人数複式学級における言語活動の充実に向けて～
41	鳩間中学校	石 垣 幸 子	物作りを通して教職員の個々の特性を引き出し、教職員の今後の教育活動に役立てる。
42	与那国小学校	田 原 伊 明	小学校におけるキャリア教育の実践について ～農業体験（長命草栽培・稲作）を通して～
43	富野小中学校	宜野座 愛子	児童生徒一人一人に確かな学力を身につけさせ「生きる力」を育む
44	竹富小中学校	前上里 徹	自ら探求する子どもの育成 ～小中併置校の特性を活かして～
45	白浜小学校	金 城 光 吉	「わかる授業」の展開による「確かな学力」の育成 ～「にぬふあ星メソッド」に基づく授業実践を通して～
46	真喜良小学校	大兼 和佳子	道徳性をはくみ、自ら行動するまきらっ子をめざして ～道徳の実践力を高める授業のあり方を通して～
47	白保中学校	宜野座 安夫	基礎・基本の定着を図り、将来の生き方を考え、選択できる生徒の育成
48	八重山商工高等学校	友 利 成 寿	学び直しによる基礎学力向上に向けた科目 ～学校設定科目「ベーシック」の教材開発～
49	昭和薬科大学付属高等学校	稲 福 達 也	科学的に探究する能力と態度の育成に関する研究 ～科学部の研究活動を通して～
50	今帰仁幼稚園	伊 波 一 男	「公立幼稚園の良さを生かす幼小連携の工夫」 ～幼児児童の日常的なふれあいを通して育む豊かな心～
51	城前小学校	大 城 英 哲	思考力・判断力・表現力を育てる指導とその評価方法等の工夫改善 ～伝え合い、高め合う学級活動の指導を通して～
52	伊是名中学校	金 城 一 宏	「確かな学力を身につけさせる学習指導の工夫」 ～授業における言語活動（表現活動等）の充実を通して～
53	伊平屋中学校	嶺 井 秀 夫	学校教育目標の具現化にむけた学級・教科経営と連動した学校講話の編成
54	有銘小中学校	田 中 隆 史	「確かな学力を向上させるための学習指導の工夫改善」 ～表現する力の向上を目指して～
55	北大東小中学校	瀧 岡 博 子	児童会・生徒会の活動を地域に広げ、校内や地域の実践・緑化活動を通して地域と交流する
56	大岳小学校	徳 村 直 美	児童一人ひとりに「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む。 ～島に誇りを持ち、心に夢を持てる幼児児童の育成～
57	久米島小学校	山 里 昌 樹	児童一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む
58	美崎小学校	宇江城 淳一	確かな読みの力を高める指導の工夫 ～説明的文章を中心とした言語活動の工夫を通して～
59	比屋定小学校	宇江城 洋一	比屋定型家庭学習の充実
60	久米島中学校	奥 間 朝 順	武道における地域伝統文化の継承発展をめざして ～沖縄角力の取り組みを通して～
61	仲里中学校	屋 良 朝 男	確かな学力を身につけ夢を持ち生きることのできる生徒の育成 ～生徒の実態に応じた効果的な指導方法の工夫～
62	慶留間小中学校	金 城 光 定	主体的に学ぶ力を身につける児童・生徒の育成 ～（小学校）豊かな表現力を高める学習指導の工夫～ （中学校）自ら学び意欲的に活動する学習指導の工夫～
63	渡嘉敷小中学校	三 浦 浩 二	愛汗教育の推進 ～愛汗活動をととして本校の教育理念に迫る～
64	阿波連小学校	仲 村 宗 男	ふるさとでの豊かな体験活動を言語活動に繋ぐ指導を通して、自ら学び、自分の思いを表現できる子の育成を図る特色ある教育活動の展開

No.	学 校 名	学 校 長	研 究 テ ー マ
65	緑風学園久志小・中学校	島 袋 克 也	「生きる力」を育てる小中一貫教育校 ～9年間の学びをつなぐ学習指導の工夫を通して～
66	安和小学校	仲 村 志 郎	伝え合う力を高めるための指導の工夫 ～言語活動の充実を通して～
67	稲田小学校	宮 城 恵 次	互いに学び合い高め合う授業の創造 ～算数科における学び合いの学習を通して～
68	上本部小学校	具 志 順 子	思考力・表現力を育てる学習指導の工夫・改善 ～算数科におけるノート指導を通して～
69	伊豆味小学校	長 田 肇	自分の考えを持ち、表現することができる児童生徒の育成 ～各教科における言語活動の工夫を通して～
70	大北小学校	玉 城 奎	個のよさを生かし、互いに認め合う人間関係づくりをめざして ～算数科における伝え合う言語活動の充実を通して～
71	本部中学校	岸 本 敏 孝	運動の楽しさを味わい主体的に体力の向上に取り組む生徒の育成 ～コミュニケーションの能力の育成を基盤として～
72	大宮中学校	前 田 孝 実	学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の工夫 ～視聴覚機器の活用・外部研究機関との連携による理科教育の推進を通して～ 各教科における言語活動の工夫を通して～
73	北国小学校	川 口 正 一	学び合い、伝え合う授業づくり ～児童の対話場面の工夫を通して～
74	奥小学校	新 田 宗 則	ESDの視点を取り入れた環境教育 ～奥川の環境改善と地域発展の両立を目指して～
75	大宜味中学校	神 山 英 輝	『確かな学力の定着』 ～夢実現への意欲を高めるキャリア教育の工夫を通して～
76	国頭中学校	神 元 勉	きき合い、学び合い、支え合う協同的な学び
77	津覇小学校	喜 納 裕 子	『確かな学力の定着』を旨とする家庭学習の取組 ～家庭（保護者）との連携を図る連絡ファイルの活用を通して～
78	北中城小学校	伊 敷 ひろみ	『算数的活動を通じた基礎的・基本的内容の習得と表現力の育成』 ～子どもがいきいきと主体的に取り組む分かる授業を目指して～
79	宜野湾小学校	宮 里 佳 宏	考える力を育む教育活動の工夫・改善 ～言語活動の充実を通して～
80	大山小学校	高 森 新 一	『基礎・基本を定着させ、活用能力を身につけた児童の育成』
81	嘉手納小学校	新 垣 聡 子	進んで学習する児童の育成をめざして ～国語科における説明文の指導をとおして～
82	屋良小学校	新 里 誠	確かな学力を育む言語活動の充実 ～説明文の学習指導を通して～
83	読谷小学校	佐 久 川 政 昭	児童一人一人の『確かな学力』を向上させ『生きる力』を育む ～知・徳・体のプロジェクトチームによる取組を通して～
84	古堅小学校	津 波 吉 春	『自分の考えをもち、相手にわかりやすく伝える力の育成』 ～国語科における読解力を高める指導を通して～
85	古堅南小学校	上 地 栄 春	『基礎学力の定着を目指す指導の工夫』 ～言語活動を意識した授業づくりを通して～
86	渡慶次小学校	金 城 幸 次	教師一人一人の学級経営力・授業力の向上 ～「書く力」を育てる指導の協働実践を通して～
87	喜名小学校	稲 嶺 春 美	確かな学力を育むための学習指導の工夫 ～日常的な授業改善を通して～
88	西原東小学校	仲 地 本 邦	基礎学力の向上及び定着 ～学習環境・教育環境の整備を通して～
89	長田小学校	比 嘉 秀 雄	『確かな学力』の育成と授業の質の向上 ～Q-Uアンケートの活用を通して～
90	嘉手納中学校	志良堂 保夫	学校教育活動全体を通して行う道徳教育の推進 ～掲示教育、環境教育等と連動した道徳の時間の指導～
91	安慶田中学校	宮 城 康 人	生徒が地域の自然や人とふれ合える水辺の造成 学校内にある湧水を活用した生徒、地域住民が集えるビオトープの造成
92	西原高等学校	玉 城 哲 也	地域の学校と連携を通じた心豊かな音楽教育の工夫
93	沖縄ろう学校	真 謝 孝	『ろう学校小学部における国語科指導の充実』 ～指導内容の共通化及び指導の一貫性の確保をめざして～
94	川崎小学校	加 島 幸 治	『命どう宝』の島から未来を拓く子どもを育てる社会科学習 ～つなぎ・つながる学びを通して～
95	比屋根小学校	吉 本 勝	地域や保護者と連携した特色あるこれからの学校づくり
96	あげな中学校	比 嘉 良 治	学びの姿勢を確立し、基礎・基本の定着を図る学習指導の工夫 ～「教えて考えさせる授業」の創造を通して～
97	与勝中学校	斉藤 美喜夫	生徒一人一人に『確かな学力』を育む ～キャリア教育の視点を踏まえた『わかる授業』の構築を通して～
98	与勝高等学校	宮 城 勉	美化活動や行事における言語活動の取り組み
99	恩納小中学校	宮城 みゆき	思考力・表現力のある児童生徒の育成 ～効果的なノート指導を通して～
100	恩南小学校	渡名喜留美子	国語科における思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫と評価のあり方
101	神原小学校	山 田 義 紀	学びの連続性を重視した指導方法の工夫改善 ～自ら考える力を育て社会性を身につけた児童生徒の育成～
102	真嘉比小学校	崎 原 永 輝	健全な食生活を実践する子の育成 ～家庭・地域との連携を通して～
103	城西小学校	盛 正 弥	『考えや思いを伝え合う力の育成』 ～算数的表現力を高める指導の工夫を通して～
104	高良小学校	兼 城 賢 悟	『読む力』を身につけ、主体的に学習する児童の育成 ～説明的文章の指導の工夫を通して～
105	仲井真小学校	安 里 恒 男	『読む力』を高め主体的に学習する児童の育成 ～物語の指導の工夫を通して～
106	さつき小学校	狩 俣 直 美	確かな学力を身につけ、豊かな人間性・社会性を育む児童生徒の育成 ～小中一貫教育を通して～
107	神原中学校	松 本 哲	学びの連続性を中心に据えた小中一貫教育 ～自ら考える力を育て社会性を身につけた児童生徒の育成～
108	寄宮中学校	川 満 順 二	基礎学力向上のため、読解力を付ける手段として、天声人語の書き写しを行い、言葉を感じることに取り組む。
109	奥島中学校	山 里 望	キャリア教育の視点を踏まえた、思考力・判断力・表現力をはくむ授業の工夫 ～書くことを通して～
110	鏡原中学校	上江田 敏博	生徒一人ひとりに確かな学力などの生きる力をはくむ ～言語活動を通して実生活に生かす力を育む授業づくり～
111	松城中学校	中 村 昌 隆	『思考力・判断力・表現力を育てる指導とその評価方法等の工夫改善について』 ～言語環境と言語活動を踏まえて～
112	石嶺中学校	佐 久 川 譲 治	生徒が通いたくなる魅力ある学校づくり ～積極的な生徒指導のための Q.U.の活用を通して～
			合 計 8,878,967円

宮古島市立
宮島小学校の
取り組み



◎教育研究団体助成 23団体 9,604,131円

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	沖縄県教職員組合	13	沖縄県公立小中学校教頭会
2	沖縄県教職員組合国頭支部	14	沖縄県高等学校教頭・副校長会
3	沖縄県教職員組合中頭支部	15	沖縄県立学校事務長会
4	沖縄県教職員組合那覇支部	16	沖縄県公立小中学校事務職員協会
5	沖縄県教職員組合島尻支部	17	沖縄県立学校事務職員協会
6	沖縄県教職員組合宮古支部	18	沖縄県へき地教育研究連盟
7	沖縄県教職員組合八重山支部	19	子ども科学おきなわ
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合	20	沖縄県視聴覚教育研究協議会
9	沖縄県小学校長会	21	沖縄県中学校文化連盟
10	沖縄県中学校長会	22	沖縄県音楽教育研究会
11	沖縄県高等学校長協会	23	沖縄県特別支援学校教頭会
12	沖縄県特別支援学校長会	合 計 9,604,131円	

◎研究大会助成(全国・九州ブロック大会) 500,000 円

教育研究団体の全国大会・九州大会を沖縄県で開催する場合の大会助成(全国大会 10 万円、九州大会 5 万円)

No.	大会名	備考
1	平成25年度九州地区工業高等学校長協会第66回総会並びに研究協議会	九州大会
2	平成25年九州地区家庭科研究協議会	九州大会
3	第47回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会「沖縄大会」	九州大会
4	平成25年度第27回全国造園教育研究協議会(沖縄大会)開催	全国大会
5	第17回九州地区高等学校総合学科教育研究大会	九州大会
6	第61回全国公立高等学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会	九州大会
7	第49回全国小学校道徳教育研究大会	全国大会
8	第31回九州各県高等学校教頭・副校長研修会 沖縄大会	九州大会
合 計 500,000円		



助成金の目録

◎第21回教育実践研究論文(個人・共同研究の部)(助成金・論文集発刊5,538,040円)

昨年度は、幼稚園 2 編、小学校 22 編、中学校 7 編、高等学校 7 編、特別支援学校 6 編、合計 44 編の応募がありました。教職員のすぐれた教育実践研究論文を募集し、入賞論文は論文集に収録して県内の各学校、教育関係団体、教育機関へ贈呈致しました。



表彰式：沖縄かりゆしアーバンリゾートナハ



講演 生重 幸恵 氏



入賞者には助成金と楯を贈呈

第21回教育実践研究論文 入賞者名

最優秀賞(2編) 研究助成金(個人20万円・共同25万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	浦添工業高等学校	教諭 照屋 友理	工業高校の学科間及び企業とのコラボレーション ～制約をきっかけとしたコミュニケーション能力の育成～
2	中川小学校	教諭 具志堅恵子	興味・関心を高め知的な気付きを育む学習指導の工夫 ～身近な植物素材の教材開発を通して～

優秀賞(6編) 研究助成金(個人15万円・共同20万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	津覇小学校	教諭 與座 優子	家庭学習の充実・定着を図るための家庭との連携 ～「連絡ファイル」の効果的な活用を通して～
2	前原高等学校	教諭 仲村渠実一	「進路相談支援システム」データベースとの連携により教育情報の有効活用を図るネットワークシステムの活用 ～校務支援グループウェア「SA.net」を利用して～
3	泡瀬特別支援学校	教諭 山口 飛	肢体不自由児の教科学習における iPad の活用に関する研究 ～学習者用デジタル教科書の作成とその活用実践～
4	沖縄高等特別支援学校	教諭 与儀しのぶ	通常高校内に設置された軽度知的障害者対象の特別支援学校分教室におけるキャリア発達を目指した
	南風原高等学校分教室	教諭 嘉手納理子	「食品加工」の実践 ～パンの製造販売の実践を通して～
5	浦添工業高等学校	教諭 金城 満	教師のためのデジタル教材の開発方法とその活用 ～構造化による開発手法の研究と教師間の連携構築～
6	知念中学校	教諭 與儀 幸朝	20m シャトルランにおける記録の向上を図る指導方法の工夫 ～体力テストの実施にかかる「場の工夫(形態)」を通して～



表彰式の様子

優良賞(22編)研究助成金(個人10万円・共同15万円)

No.	学 校 名	職名・氏名	研 究 テ ー マ
1	上本部小学校	教頭 松尾 望	英語への興味・関心を高め、自ら学ぶ態度を育成する指導の実践 ～11のメソッドを通して～
2	東江中学校	教諭 北島 幸三	インタラクティブ学習システムを活用した学力向上の工夫 ～質的・量的活用による相乗効果を生み出す工夫を通して～
3	名護特別支援学校	寄宿舎指導員 外間 元人 名嘉山 卓 古謝なつみ	寄宿舎における将来の社会参加・自立へ向けての取り組み ～チャレンジルームから学ぶ見通しのある生活～
4	諸見小学校	教諭 宮城 信夫	沖縄県学力問題に関する一考察 ～読谷村での聞きとり調査と史的考察をもとにして～
5	屋良小学校	教諭 稲嶺 保	「逆さ感覚」「回転感覚」を身につける「後転」指導 ～だれもが「後転」の基礎感覚を高める場づくりと補助の工夫～
6	嘉手納高等学校	教諭 請盛 亜季	内なる美徳を呼び起こす指導の工夫 ～ヴァーチャーズ・プロジェクト 52の美徳教育プログラムの実践を通して～
7	北谷第二幼稚園	教諭 比嘉 綾子	規範意識の芽生えをはぐくむ援助の工夫 ～クラス活動をとおして～
8	美原小学校	教諭 友利久美子	数学的な思考力・表現力を育む学習指導の工夫 ～かく活動とアーギュメンテーションによる対話型問題解決の授業を通して～
9	泡瀬特別支援学校	教諭 當眞 正太	A児に対する10までの数概念の形成に関する実践的研究 ～学習支援機器としてのPad活用から生活に役立つ算数的活動へ～
10	城西小学校	教諭 石川 広美	書く力を高める作文指導の工夫 ～キーワード作文や読み合いを通して～
11	首里中学校	教諭 富山 仁志	思考力・判断力・表現力をはぐくむ理科学習の工夫 ～ジグソー学習を取り入れた言語活動の充実を通して～
12	那覇工業高等学校	教諭 友松 義徳	専門教科「工業」における観点別評価の実践的研究 ～簡略化した評価規準を使った評価システムの構築～
13	那覇国際高等学校	教諭 神村 智子	ESDの視点に立った地理教育の実践的研究 ～マレーシアを題材とした「環境保全活動」の教材化～
14	与儀幼稚園	教諭 國吉 裕子	意欲的に体を動かして遊ぶ幼児の育成 ～戸外での運動的な遊びを通して～
15	那覇特別支援学校	教諭 圓 雅之 赤嶺 太亮	「重度・重複障害児の実態に即した自立活動の工夫」 ～AAC機器等を活用したコミュニケーションの芽を育てる研究～
16	仲西小学校	教諭 赤嶺 達也	自主的な活動のできる児童を育成する学級づくり ～実行委員会形式を取り入れた集団活動を通して～
17	浦添中学校	教諭 菊地 智裕	生徒が自然への関心・意欲を高める授業の工夫 ～生活する地域を活かした体験活動を通して～
18	大岳小学校	教諭 新城 秀樹	学んだことを活用し、思いや考えを豊かに表現しあう児童の育成 ～国語科における「読み解く力」の指導を通して～
19	糸満小学校	教諭 謝花 美幸	意欲的に取り組む子どもの育成 ～すきま時間を活用した、他学年とのかかわりの工夫～
20	西崎特別支援学校	教諭 知念 元喜	知的障害のある生徒の家庭内での自立を図る指導の工夫 ～タブレット型デジタル教本の活用を通して～
21	上野小学校	教諭 下地 洋子	「言葉で伝える」よさを実感させる学習指導の実践 ～「朝の会」や「音楽療法」の小集団指導と国語と算数の個別指導を通して～
22	久部良小学校	教諭 大城 亜美	豊かな体験を踏まえた生活科の充実 ～キャリア教育と関連させて～

※最優秀賞論文は公益財団法人 日本教育公務員弘済会の日教弘教育賞へ支部推薦致します。学校部門1編については別途募集し推薦致します。

平成25年度 第19回日教弘教育賞

「奨励賞」学校部門(研究助成金 10 万円)

神原中学校 校長 松本 哲

研究主題：「自ら考える力を育て社会性を身に付けた児童生徒の育成」 ～義務教育 9 か年を見通した小中一貫教育を通して～

「奨励賞」個人部門(研究助成金 10 万円)

球陽高等学校 教諭 永井 秀行

研究主題：気象情報の活用場面を通じた気象への興味・関心を高める工夫 ～「リアルタイム気象情報表示システム」10 年間の実践を通して～

③ 教育文化事業 豊かな文化を育むために

◎クラシックコンサート、いっこく堂講演会を一般社団法人 沖縄県教職員共済会と共催で実施しています。

◎平成25年度実績 (4,835,000 円)

クラシックコンサート(宮古地区 10校)

- ・南小学校
- ・砂川小学校
- ・福嶺小学校
- ・城辺小学校
- ・平良第一小学校
- ・北小学校
- ・上野小学校
- ・池間小中学校
- ・東小学校
- ・西城小学校

いっこく堂講演会(八重山地区 9校)

- ・名蔵小中学校
- ・竹富小中学校
- ・船浦中学校
- ・石垣第二中学校
- ・八重山特別支援学校
- ・石垣中学校
- ・川平小中学校
- ・海星小学校
- ・白保中学校

2. 福祉事業 会員の福祉の充実に努めています



◎平成25年度実績 (28,599,964円)

1. 結婚祝金	207件	2,070,000円
2. 出産祝金	458件	3,760,000円
3. 入学祝金	361件	3,610,000円
4. 検診補助	3,484件	12,172,350円
5. 宿泊補助	1,251件	3,165,000円
6. 研修旅行補助	27件	405,000円
7. 退職教職員の福祉事業	2,114件	2,633,614円
8. 新採用者・退職継続者へ 記念品等	935件	784,000円

日教弘
ライフサポート倶楽部
お問合せ先

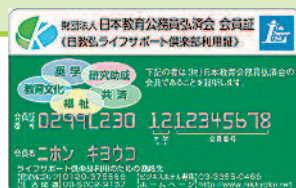
「日教弘ガイダンスセンター」

0120-371-969 (受付時間 9:30~17:00 土日祝日を除く)
IP電話はご利用になれませんのでご注意ください

「日教弘ライフサポート倶楽部」

ホームページアドレス

<http://www.nikkyoko.net>



※平成25年度から入学祝金・検診補助金(現職会員40歳以上、退職後継続会員)を新設し、会員の福祉事業の充実に努めています。

各種祝い金の申請手続きはお済みですか?
申請の期限は、事由発生日から1年以内です。

※ご夫婦とも会員の場合は、両者とも該当します。



日教弘 沖縄支部の詳しい事業内容についてはホームページをご覧ください

<http://www.nikkyoko-okinawa.jp>

※各種申請書はホームページよりダウンロード可能です。(会員専用の申請書です。)

各種申請については、日教弘沖縄支部 又は下記のジブラルタ各支部学校担当LCまでご連絡ください。

ジブラルタ生命 沖縄エリア 各支部連絡先

支部名	所長名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
名 護	葉 丸 圭 太	905-0021	名護市東江5-11-1 2F	0980-52-2517	0980-53-3045
コ ザ 第 一	内 山 聖 隆	904-0004	沖縄市中央2-28-1	098-939-8224	098-934-7998
コ ザ 第 二	中 田 太美子		コリンザビル3F	098-938-7009	098-921-3820
沖 縄 中 央	江 藤 甚之助	901-2224	宜野湾市真志喜3-29-1 PTCビル7F	098-942-2735	098-898-8317
沖 縄 第 一	中 山 忠 臣	900-0006	那覇市おもろまち1-1-2 新都心センタービル 5F	098-860-1271	098-866-5408
沖 縄 第 二	小 川 晃 弘				
那 覇 第 一	渡名喜 守 平				
那 覇 第 三	内 間 剛				
那 覇 第 四	宮 城 肇	901-0241	豊見城市字豊見城1138 2F	098-850-0805	098-850-0969
豊 見 城 第 一	山 崎 浩 次			098-850-0998	
豊 見 城 第 二	平 野 智 英	906-0012	宮古島市平良字西里391 2F	0980-72-1766	0980-75-4717
宮 古 島	下 川 至 生	907-0013	石垣市浜崎町2-2-5 2F	0980-82-2733	0980-83-1635
八 重 山	上 田 義 隆				

こんな時はお電話を

- 病気やケガをされた場合
- ご登録いただいている内容に変更があった場合
- ご契約の内容を変更したい場合
- 保険証券をなくされた場合

その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用フリーダイヤルへ

各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用フリーダイヤル 0120-37-9419

※この他に一般顧客用0120-37-2269もご利用ください。

受付時間
平日 8:30~20:00
土曜 9:00~17:00
(日・祝を除く)

このきょうこう通信No.009をお届けしましたのは

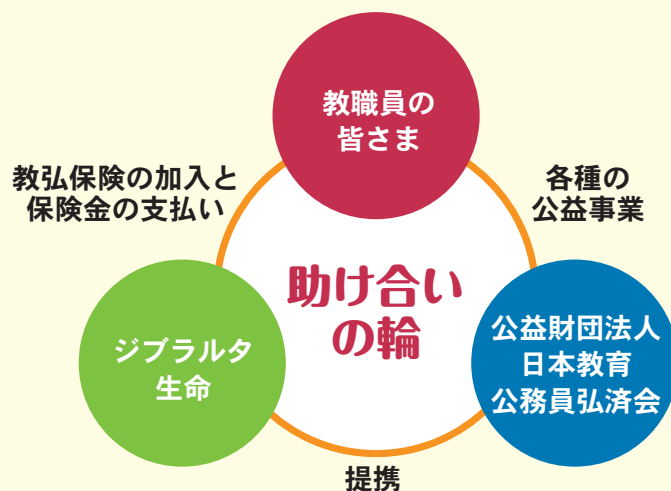
支部

です。どうぞご覧ください。

3. 共済事業（提携保険事業）

※日教弘では半世紀にわたってジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

教職員の皆様と日教弘・
ジブラルタ生命との関係



※各種事業の詳細につきましては、
日教弘沖縄支部又は学校担当LCまで
お問い合わせください。

教弘保険

日教弘会員だけが加入できる**教職員相互扶助**の精神に基づく**教職員のための『教弘保険』**です。

34歳以下の
教職員のための

ユース教弘保険

(集团契約特約付勤務保険)

35歳以上の
教職員のための

新教弘保険

(集团契約特約付勤務保険)

生涯保障

新教弘終身保険

(生存給付金特約付低解約返戻金型 積立利率変動型終身保険)

医療保障

新教弘医療保険 新医療保険

(支払限度変更型／解約返戻金なし特約・無事故給付特約付)

生涯保障＋介護保障

新教弘介護保障付終身保険

(介護保障付終身保険／低解約返戻金型)

(注) 新教弘終身保険、新教弘医療保険、新教弘介護保障付終身保険からは配当金は発生しません。

上記内容は商品の概要を説明しております。

ご契約に際しては共済事業（提携保険事業）提携保険会社ジブラルタ生命の商品パンフレットおよび「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

日教弘の各種事業は教弘保険の契約者配当金を財源にしています。

日教弘の奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業を中心とした各種事業は、共済事業(提携保険事業)として、ジブラルタ生命保険(株)との提携に基づき皆様にご案内しております教弘保険(注)の契約者配当金により運営されています。

〈教弘保険(注)の契約者配当金が財源となっている事業〉

1. 青少年の健全な育成に資するため、有益な学生・生徒に対する奨学事業
2. 教育一般の特に有益な研究に対する助成事業

3. 教育・文化の振興に対する事業
4. 教職員の皆様の潤いのある生活を目指した各種福祉事業

※ 詳しくは、日教弘ホームページ(<http://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。 また、加入申込書にも「教弘保険に関する重要説明事項」として記載してあります。

(注) 教弘保険：集团契約特約付勤務保険が含まれる保険種類

日教弘沖縄支部 創立40周年記念式典・祝賀会

日教弘沖縄支部は平成25年7月1日をもって創立40周年を迎えました。
その記念事業の一環として、児童・生徒の学力向上を願い、県内のすべての小・中学校に対して2万円の図書カードを贈呈しました。



記念式典



記念講演
(公財)日教弘前理事長
山田 篤 氏



来賓祝辞
沖縄県教育委員会教育長
諸見里 明 氏



図書カードのお礼状